

施政方針

令和7年第3回天草市議会定例会が6月2日から20日まで開かれ、馬場市長が市政運営に対する所信を述べました。

今号では、5つの重点施策別にその概要をお知らせします。



本年2月の市長選挙におきまして、市民の皆さまのご支持を賜り、引き続き、市政の舵取りを担わせていただくこととなりました。
2期目の出馬に当たり、私は「天草版地方創生への挑戦」をスローガンに掲げました。
本市は、平成18年に2市8町が合併し、行政運営の効率化と財政基盤の強化を図りながら、少子化・高齢化社会に対応した新市のまちづくりを進めてきました。
私も、市長就任以来、あましんスタジアムや御所浦恐竜の島博物館の整備、子育て支援の強化や企業誘致などに注力し、持続可能な地域づくりを目指して市政運営に努めてまいりました。しかしながら、歯止めのかからない少子高齢化に伴う加速度的な人口減少の進行は、国力の低下、そして特にその影響の大きい地方にとって、より深刻な活力の低下と集落の存続をも難しくさせる事態をもたらしています。

戻そうとしています。
また、社会構造や人々の価値観も大きく変容しています。デジタル技術の急速な進展や多様性の尊重を背景に、人々の働き方や経済活動、教育の在り方などは変化を続け、地方での暮らしに価値を見出す人も多く存在します。
ここに、天草の未来に向けたチャンスがあると考えています。本市は広大な市域の中にさまざまな資源と課題を併せ持ち、その姿は地方創生を目指す日本の縮図であるといえます。市民の皆さまとの協働に加え、市外のさまざまな地域や人々との交流を拡大し、まちの活性化と新たな価値の創造、そして人口減少社会に適応する暮らしの基盤の構築に向け、本市ならではの地方創生に挑戦する。そのような思いを胸に、2期目をスタートいたしました。
今年度は、「第3次天草市総合計画前期基本計画」の仕上げの年となります。引き続き本計画に掲げた取り組みの推進を図るとともに、次年度からの施策を盛り込んだ「後期基本計画」を策定し、地方創生の深化を目指して各種施策を実行してまいります。

01 住み慣れた地域での安心安全な暮らしを守る

福祉体制の強化

社会福祉法に基づく「重層的支援体制」による支援の本格運用に取り組み、高齢・障がい・子育てなどの分野に捉われず、近年の複雑化・複合化した市民の生活課題に係る相談を包括的に受け止め、継続的な伴走支援を実施します。

抜本的な交通再編

人口減少に伴い、公共交通の縮小、地域の商店や医療機関の廃業など、市民の日常生活に必要な不可欠なサービスの維持に、さまざまな課題が顕在化しています。

その解決に向け実効性の高い対策を講じていくため、まずは抜本的な交通再編に向け、関係機関との協議を早急に進めます。市内各地のコミュニティ交通では、A1オンデマンド乗合タクシーなど、地域の実情に合わせた交通サービスを導入します。その上



近隣に店舗がない地域や交通が不便な地域において、地域の施設を活用した買い物拠点の整備や移動販売等の民間サービス、デジタル技術の活用などについて調査検討を進め、地域の実情に応じた方策を講じます。

買い物支援

医療提供体制

今年3月から、病院受診が困難な人の通院の負担軽減を図るため、看護師が地域に出向き、患者と病院にいる医師とを通信機器でつないで診察を行うオンライン診療を、市立河浦病院で開始しました。今後、この取り組みの効果を検証しながら、対象地区の拡大や内容の充実を図り、市民の皆さんに寄り添った医療提供体制の構築を進めます。

防災力向上・インフラ整備

市民生活に密着した道路・河川の整備や空き家対策を進めるとともに、非常食や簡易トイレ等の防災備蓄品の充実、発災時に地域の主力となつて活動する消防団員の活動の整備などを行います。

さらに、携帯電話等不感エリアの解消に向けた通信基地局の整備、水道・下水道事業の施設と管路の耐震化対策などに取り組み、災害に強く、機能的かつ持続可能な社会インフラ施設の整備を進めます。

02 活力あるまちづくりの推進

特色あるまちづくり

各地域の核となる支所の特徴ある取り組みを推進するため、庁内に「天草版地方創生推進本部」を設置し、強力に支所の取り組みをバックアップします。

そして新たに、「地域おこし協力隊インターン制度」や「集落支援員制度」などを活用し、地域の魅力向上に貢献する人材の導入・確保を進めます。

観光政策

観光振興アクションプランの策定により、プロモーション戦略を深化させ、福岡や長崎など近隣各県をはじめとした国内の旅行需要はもとより、近年のインバウンド需要を捉えた国外からの誘客促進にも積極的に取り組みます。

また、国立公園指定70周年に向け、熊本県や上天草市、苓北町と連携した観光推進事

御所浦への誘客

今年5月に来館者数が3万人を突破した御所浦恐竜の島博物館で、ティラノサウルス展の開催やアニメコンテンツを活用したプロモーション活動を展開し、資源豊富な魅力ある島へのさらなる誘客を促進します。

スポーツ交流の促進

あましんスタジアムを利用した団体の宿泊等による昨年度の直接的な経済効果は年間約4億2千万円と試算され、観戦などで訪れた人々を含めた実際の効果額はこれを大きく上回るものとなります。

今年度、関係する補助制度を拡充し、スポーツコミッションを中心とした各種大会・合宿などの誘致活動の取り組みを強化します。

また、市民の皆さんの利便性をさらに向上させるとともに、スポーツ交流の活発化による経済効果の拡大を目指した屋内多目的広場の整備についても、引き続き検討を進めます。

拠点整備とにぎわいのまち

「天草戦国ミュージアム・倉岳支所」の建設、本渡港および牛深港周辺における民間



天草戦国ミュージアム・倉岳支所（外観イメージ図）

活力導入可能性調査や都市計画マスタープランの見直しなど、各地の交流・周遊拠点の整備に向けた取り組みを着実に進め、これらを核としたにぎわいのあるまちづくりへの展開を図ります。

03 持続可能な経済循環の実現

第1次産業を守る

農林水産業では、従事者の減少や高齢化の進行、温暖化に伴う自然環境の変化などにより、経営体の維持にさまざまな課題が生じています。

本市の基幹産業である第1次産業を守っていくため、新規就業者の確保や就業環境の改善、スマート設備の導入支援、生産基盤の整備など、引き続き担い手の確保と経営の安定化に資する施策に取り組みます。

農業

農業者が共同で管理する農道の法面等への防草シート設置や草刈りなどに係る共同作業を支援する本市独自の補助制度を創設し、農業施設の保全管理を支援するとともに、離農の防止や耕作放棄地の拡大の抑制、農村環境の維持に努めます。併せて、果樹園でのドローンによる農薬散布等、栽培上で支障となる樹木や有害鳥獣、病害虫の温床となる放任果樹の伐採に係る実証事業などに取り組み、かんきつ類の栽培環境の整備を支援します。

漁業

長年、漁業者と取り組んできた藻場の再生活動が実を結び、令和5年度に設立した「天草市ブルーカーボン推進協議会」の取り組みを経て、今年3月にJブルークレジット制度における県内初の認証を取得しました。引き続き関係機関と連携して水産資源の維持・回復に努め、持続可能な水産業の確立を目指します。また、魚類養殖漁業に多大

天草産品のブランド化や地産地消・地産他消の推進

さまざまな機会を捉えたPR活動やデジタル地域通貨「天草のさりー」の普及を推進するとともに、新たに「クラウドファンディング型ふるさと応援寄附活用事業」を創設し、地場産品の開発や市内事業者の設備投資を促進します。

環境政策

カーボンクレジット等による脱炭素の取り組みや通詞島沖のイルカの生態調査を通じた環境学習の推進、日常生活や経済活動におけるごみの資源化・減量化対策、エネルギーマネジメントの推進などにより、持続可能な社会づくりと経済循環の両立を目指します。



04 未来を担う人材の育成

子育て支援

今年4月から新たに「こども家庭課」を設置し、複雑化する子育ての悩みや課題に対する相談支援体制を強化しました。併せて、保育所等における医療的ケア児の受入体制の整備などにより、地域の子育て環境の維持と充実を図ります。

本市の基幹産業である第1次産業を守っていくため、新規就業者の確保や就業環境の改善、スマート設備の導入支援、生産基盤の整備など、引き続き担い手の確保と経営の安定化に資する施策に取り組みます。

さらに、令和6年度からスタートした3歳未満児保育料の無償化や入学等祝い金の支給を継続するとともに、長引く物価高騰を踏まえ、学校給食費などに係る国の支援策を注視しつつ、子育て世帯の経済的負担の軽減に努めます。

学校教育

児童・生徒用タブレットの一斉更新や、令和6年度に設置を完了した中学校体育館に続く小学校体育館への空調設備設置など、子どもたちの学習環境の向上に資する整備を進めるとともに、学校部活動



体験学習

世界文化遺産「天草の崎津集落」や御所浦の恐竜化石、通詞島沖のイルカ等、総合的な学習の時間を活用した本市特有の歴史・自然に関する学びなどにより、豊かなフィールドを活かした体験学習の充実を図り、子どもたちの郷土愛と生きる力を育みます。

高校魅力化

少子化の進行により、県立高校において熊本市外の学校を中心に定員割れが続いており、現在、熊本県で高校のあり方の検討が進められています。高校は、小・中学校の児童・生徒や地域にとって重要な存在であり、身近な地域に可能な限り存続させることができると、地元自治体としても対策を講じていく必要があります。本市においても、市内5つの高校と熊本県、そして地域と連携し、各校の特色に応じた高校の魅力化を図り、地域の教育環境の維持と充実に向けた取り組みを進めます。

担い手の育成と確保

全国的な人手不足の中、市内の中小企業等における人材育成と雇用の安定化を図るため、従業員の資格取得や技能講習の受講などを支援する事業者を対象に、その経費の一部を助成する制度を創設し、民間事業所における人材確保の取り組みを後押しします。その他、地場企業の魅力発

05 行政運営体制の強化

行財政改革

事業のスクラップ&ビルドの徹底や、特定財源の積極的な確保による財政基盤の強化、デジタル技術の活用による行政サービスの向上と業務の効率化、分野横断的に政策を遂行する組織力と職員力の向上を目指し、今年度、「第3次天草市行政経営改革大綱」を策定します。

官民連携のまちづくり

ふるさと納税制度の積極的な活用など、行政も自ら稼ぐ意識を持ちながら、市民の皆さんや民間事業者とのより一層の連携・協働を推進し、地

併せて、外国人労働者の雇用に関する課題への対応や地域おこし協力隊制度の積極的な活用により、多様な人材の確保に取り組めます。

域と行政が一体となった魅力あるまちづくりを進めます。



天草市ふるさと納税特設サイト